



最新のニュース

- 日本政府支援により、パキスタンとアフガニスタンで新しい事業がスタートします！
- 福岡で第2回国際環境技術専門家会議が開かれました。
- 国連ハビタット・福岡県国際交流センター合同レクチャーシリーズ「ハビタットひろば」、2011年4月より始まります。第1回は、アフガニスタン！



2011年、パキスタンとアフガニスタンで日本政府支援事業が始まります！

パキスタン

2010年8月のモンスーンによる洪水により、パキスタンでは2千万人が影響を受け、6州で180万棟の家屋が全半壊しました。この度、国連アピール（2010年9月発表）で提案した国連ハビタットの事業に対する日本政府からの約4,460万ドルの支援を受けて、2011年、「パキスタン洪水被災地域における居住復興事業を開始します。

本事業では、特に被害が深刻な5つの州（バロチスタン、ハイバル・パフトゥンハー、パンジャブ、シンド、AJK）で住居・水と衛生施設・コミュニティインフラの復旧等を行います。国連ハビタットの人道支援アプローチは「持続可能な復旧・復興」であり、緊急事態から長期的な居住開発への「継ぎ目のない復興支援」に注視して事業を実施していきます。

アフガニスタン

アフガニスタンでは、昨年日本政府支援で開始した「国家連帯プログラム（NSP）支援を通じたアフガニスタン平和構築事業」に続き、2,850万ドルの支援を受けてフェーズIIを実施します。本事業では、昨年に引き続き、国内9県において、生活インフラ等の建設・整備及びその技術訓練等のニーズが高い地域を対象に、雇用創出等を通じた受益者の社会への再統合支援を図るとともに、コミュニティの結束力を強化します。また、これにより、反政府勢力や帰還民を含めたアフガニスタンの民心・治安の安定を促進し、平和構築に寄与します。



野田本部長、
高島新福岡市長を訪問



上空から見た洪水直後の状況（上）と、2005年パキスタン大地震後の仮住居建設の様子（下）



高等学校校舎の落成式（アフガニスタン・カピサ県 Kishiktan クラスタ-CDC）

第2回国際環境技術専門家会議、福岡で開催



福岡における専門家会議の様子



第1回会議の後、(株)コヨウの技術(納豆菌ブロック)を活用して実施されたモンゴルでのパイロット事業の様子



2010年9月30日、第2回国際環境技術専門家会議(1部・2部)が福岡市で開催されました。今回は「エネルギー」をテーマとして、特にクリーン・エネルギー(再生可能エネルギーや代替エネルギー)を対象に、国や都市全域を網羅する大規模あるいは高度なエネルギー技術を第1部、また都市あるいはコミュニティ単位でも導入可能な、よりシンプルで持続可能なエネルギー技術や取り組みを第2部で紹介しました。

第1部では、自治体の産学官連携による世界レベルでも先進的な取り組み事例として「福岡水素戦略」について、福岡県より基調プレゼンテーションが行われました。続いて、北九州市による低炭素社会の実現に向けた取り組み、企業による太陽光発電、鶏糞発電、地熱エネルギーなどについてのプレゼンテーションが行われました。第2部では、福岡県大木町によるバイオマス・エネルギーの取り組みに続き、太陽の熱を反射する塗料、水車、ソーラークッカーなどの知恵や工夫が活かされたノウハウが紹介されました。

アジア各国の参加者からは、電気の普及率や豊富な地下資源や新エネルギーのポテンシャルを有するにもかかわらず財政・技術力の不足から木材など伝統的な材料に頼らざるを得ない現状など、それぞれのエネルギーに関する現状や課題、日本の技術協力を期待する分野などについて説明が行われました。その後、第1、2部とも出席者による大変活発な意見交換や質疑が行われました。

この専門家会議に出席した企業や自治体による発表資料や、フォローアップのでも事業の様子は、国連ハビタット福岡本部ウェブサイトのKCAPコーナーで紹介しています。

<http://www.fukuoka.unhabitat.org/kcap/>

義援金を通じた「いのちの水」事業

国連ハビタット福岡本部は2008年7月より「いのちの水」事業を推進しています。2009年に福岡ハビタット研究会に寄せられた義援金5万米ドルは、ミャンマー及び中国で活用させていただきました。心から御礼申し上げます。



ミャンマーの学校に設置された雨水集水タンク

そして、この度、福岡ハビタット研究会に寄せられた義援金6万米ドル(約500万円)が新たに国連ハビタットへ送金されました。

国連ハビタットは、この義援金をラオスにおける事業等において活用させていただきます。

***ラオス:メコン川流域の学校を対象とした雨水集水システムによる「安全な水」へのアクセス推進事業**

ラオス・サバナケット県の5つの学校に雨水集水システムを設置するとともに、この事業を通じて「安全な水」へのアクセス推進に関する意識向上を目指します。



国連人間居住計画(ハビタット)福岡本部(アジア太平洋担当)
〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡8階
Tel: 092-724-7121; Fax: 092-724-7124
Homepage: www.fukuoka.unhabitat.org
E-mail: habitat.fukuoka@habitat.org